

緑からもらったものを緑にかえそう

# 緑とともに

Toyota・Kamo  
豊田・加茂  
菜の花プロジェクト

2013年 7月発行

機関紙 第58号

## はじめに

陽射しが強く感じられるようになりましたね

5月11日(土)、総会及び菜の花楽習会が開かれました。楽習会当日はあいにくの天候にも係わらず、70名を越す方が参加して下さいました。また、無事に総会及び菜の花楽習会をむかえる事が出来ました。また、会員および関係者の方々のご理解とご協力があったのであります。大変感謝しております。有難うございました。



## 特集

### 第8回 菜の花楽習会

講演会講師：成瀬 弘治氏



今回の楽習会の講演会は講師に成瀬 弘治氏をお迎えし“安全な食べものは自分でつくる時代に”と題して行われました。当日は、様々な職種、老若男女問わず沢山の方々がおいで下さいました。

#### 講演会、内容

◎アメリカ・カナダ・ニュージーランドなど、農業大国は日本に比べ、生産物が安価になる。

安い理由：農業編	良くない事情：農業編
・耕作規模が広大。安定的に作物が大量に作れる。	・広大な土地の農業をスムーズにする為、大量な農薬を使用。(アメリカ米は日本の基準の60~80倍の農薬を使用)生態系や環境の破壊になる。
・農薬に耐える品種を作る。	・遺伝子組み換えをしている。
安い理由：酪農編	良くない事情：酪農編
・通年えさの牧草が生えてる地で酪農。	・日本では、牧草が生えない時期がある為えさ代がかかる。

◎これらの問題を解決する方法とは  
・家庭菜園を推進するべきである。

理由：家庭菜園は狭い面積で何種類もの作物を栽培できる「知恵と技術の総合デパート」であるから。方法としては健康自然農法を提案。(健康自然農法とは環境に優しく健康を増進する本物の農産物を作る農業)

◎これから必要なこととは

・農業生産法人や集落営農への支援。  
・山間地の農業を保全させ若者が農業に進みやすい環境も整える。など

◎また、命の糧を作る者は神様の次に大事な仕事をしています。そして同時に自分の住んでいる所・町を仙境(美しく)する努力を怠ってはならないとして、講演会を終わられました。大変、貴重なお話有難うございました。

#### NPO法人豊田・加茂菜の花プロジェクトが考える事とは...

当プロジェクトでは、大規模農業を行う事は生態系を壊したり、自然破壊に通じると考えています。大規模農業は消費型農業(自然が蓄えた有機質や肥沃な農地を使い果たし、やせた土地にしてしまうこと)になるからです。私達の目指す農業体系は、昔ながらの持続可能な農業です。持続可能な農業の中に土壌の生態系を維持し地域の資源を循環的に結びつけることも目的のひとつとなっています。これからも、理想の農業体系の為、私達は活動の輪を広げていきます。ご理解・ご協力、宜しくお願い致します。

◎また近年、大量に中国の農産物が輸入されています。実は、中国では  
・世界1農薬と化学肥料を使用する国と言われています。  
・加えて成長ホルモンや、病気が増えるため抗生物質が大量に使用され、結果土壌が劣化し農業用水の汚染も深刻。  
そのような中国からの生産物を金額にして、1年で国民1人当たり1万円以上、食べている計算になります。どう思いますか？いずれにせよこれ以上、安い生産物を大量に輸入し続けると、日本の食料自給率が20%前後に大幅ダウンになってしまう危険な状態にあるのです。



### はなおじさんのひとりごと “共に生きる”とは



私達は、循環型社会の繋がりを他方面に求めているように感じるものの、共通していつも求めているものがある。それは、人と人との繋がりで。どの様な行動を起こす時でも、沢山人がいれば、難しい事や大変な事をして楽しい事も共有する事が出来、また、成し遂げる事が出来ます。そしてこれからは、自分の周りの環境を確認し住み易く地球に優しい生活を送る事が課題となる時代が来ているのです。これが、私達の“共に生きる”と言う意味ではないでしょうか。

各コーナー・イベント情報のお問い合わせ先

Toyota・Kamo  
NPO法人 豊田・加茂  
菜の花プロジェクト  
事務局 梅谷

〒471-0051 豊田市花丘町1丁目17番地  
TEL 0565-41-4837 FAX 0565-34-3566  
URL <http://www.hanaoka.biz/>

# イベント報告

5月11日

(土)

## 第7回通常総会・第8回菜の花楽習会

第7回通常総会が豊田市青少年センター2階大会議室にて行われました。無事、総会が開催され議案はすべて承認を受けることができました。また、一年新たな気持ちで頑張ります。御協力宜しくお願いします。

楽習会、  
ご来賓の方々です



第8回菜の花楽習会での来賓挨拶をご紹介します。

◎豊田市長 太田稔彦様

平成17年に合併してから、豊田市は都市と農山村が共生した都市となりました。働く場もあり、人材も情報もあるという多様性があり、都市内で完結できる都市は非常に珍しいです。このような素晴らしいところを伸ばしてよい豊田市にしていこう、という気持ちは菜の花プロジェクトの皆さんと同じです、と、お話をされました。

◎衆議院議員 八木哲也様

豊田スタジアムの近くに住んでいます。今年も豊田スタジアムの菜の花がきれいに咲きうれしく思います。3年前に豊田市の農村舞台アートプロジェクトで、菜の花プロジェクトのことを知りました。廃油のろうそくを始め、裾野の広い活動ですごいことをやっていると感じます。自民党にも部会ができるほど強い農業政策が求められています。

◎愛知県 農林水産部 食育推進課 課長 丹羽明芳様

BDFを作る為、廃油の回収を28市町村、36団体が活動し回収して。もっと広がると良いと感じています。こだわりをもっている商品は高いので、買ってもらう為には、そのような商品を扱っている場所に販売先を広げていくべきだと考えています。食育推進課では6次産業、農工商連携のイベントなどを開き、取引の場を作りたいと考えています。



楽習会、たくさんのご参加有難うございました。

6月18日

(火)

## 第1回猿投台中学校 環境教育

今年も、環境教育を行います。まず最初に予定されている環境教育の内容説明会を行いました。生徒達はみな真剣に話を聞いていました。



オリエンテーション  
の様子です

## 参加募集

### ◎7/9(火) 猿投台中学校 環境教育

昨年より、育ててきた菜の花を使い、とうみを使って、種を選別していきます。その種を使って搾油をします。また、廃油も使って、ろうそく作りも体験します。

### ◎8/3(土)4(日) 第10回菜の花学会・楽会 in 東近江

すべての子どもたちの笑顔のために  
ワクワクを伝えたい

場所: 愛東コミュニティセンターほか

3.11東日本大震災は、私たちに「脱化石・脱原発依存」をすすめ、地域がもっている資源をいかし、再生可能エネルギーを広げていく必要性を再認識させました。第10回の学会・楽会では、廃油を精製したBDFによる電気で光のイベントを開催している「コトナリエ」と連携して福島と滋賀を結びます。

8/3は学会と称し、基調講演会を行います。滋賀県知事 嘉田 由紀子氏が講師を務められます。また、事例報告や交流会も予定されています。  
8/4は会場をかえ分科会を行います。

参加するイベントによっては、参加費がかかるものがございますので予め確認して頂く事をお勧めします。

## お知らせ

### ●2013年度 織りいぶ&ORiIBU 夏の作品展

日時: 7月19日(金)~7月25日(木)  
10:00~17:00

場所: mateini・ORiIBU  
豊田市柿本町5-56

社会福祉法人オンリーワンORiIBU、NPO法人スモールワン 織りいぶにおいて、夏の作品展を開催することになりました。プロジェクトも、参加します。菜の花商品の販売を予定しています。是非お立ち寄り下さい。

### ●今年も無事、菜種の収穫が終わりました。 新油が楽しみです。

## 申し込み方法

・ハガキ  
・FAX  
・E-mail

のいずれかで

- ①氏名
  - ②郵便番号
  - ③住所
  - ④電話番号
- を記入して右記までお申し込み下さい。



〒471-0051 豊田市花丘町1丁目17番地  
TEL 0565-41-4837 FAX 0565-34-3566  
E-mail: nanohana@hanaoka.biz

## お申し込みはこちら

Toyota Kamo  
NPO法人 豊田・加茂  
菜の花プロジェクト  
事務局 梅谷

ご愛読ありがとうございます  
次号は、(2013年 9月発行)  
「国産油」  
です。お楽しみに!!

